

第 77 回分析化学討論会 討論主題の趣旨及び依頼講演

討論主題 (2) --- 『次世代医療を見据えた生体高分子分析の最前線』

オーガナイザ：山本佐知雄（近畿大学薬学部）（代表者）

蛭田勇樹（慶應義塾大学薬学部）

次世代医療を見据えた際、分析化学の研究者が解決しなければならない問題を「様々な生体高分子の分析を如何にして達成するか」という切り口で議論したい。特に糖鎖、タンパク質、核酸等の分析技術について最新動向と将来展望を踏まえ、活発な討論を行う場としたい。

【依頼講演】

齋藤義正（慶應義塾大学薬学部）

「オルガノイド培養技術による難治性がんの *in vitro* モデルの構築と創薬研究への応用」

杉山直幸（京都大学大学院薬学研究科）

「リン酸化プロテオーム解析技術を用いたキノームプロファイリング」

佐藤雄介（東北大学大学院理学研究科）

「RNA 構造を識別する蛍光性ペプチド核酸プローブの開発」

蛭田勇樹（慶應義塾大学薬学部）

「温和な条件でのタンパク質精製を可能にする温度応答性固相抽出カラムの開発」

山本佐知雄（近畿大学薬学部）

「糖タンパク質糖鎖の高感度かつ網羅的な解析技術の開発」

※演題は変更する場合があります。講演順は未定です。

2017 年 1 月 18 日現在